

4月の行事案内

- 4月12日(日) 10:00~12:00
バードウォッチング入門① ~鳥たちのさえずり~
- 4月19日(日) 9:30~12:00
子どもレンジャークラブ① ~公園を探さくしよう~
※会員制のため、会員以外の参加はできません
- 4月26日(日) 10:00~12:00
春のトンボ観察会① ※雨天中止
- 4月29日(水) 9:00~16:00
きらら浜自然観察公園春まつり

※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料200円が必要です(18歳以下無料)。
※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

★★土曜・日曜・祝日のイベント案内★★

- ★ **バードウォッチング (11:00~12:00)**
レンジャーと一緒に公園内を歩いて鳥などの生き物を探します。
(雨天・荒天時や行事と重なる場合は中止します)
- ★ **楽しい工作教室 (14:00~15:00)**
自然の素材などを使って色々な工作を作ります。
3月のメニューは「プラバンキーホルダー」です。
- ★ **楽しい紙芝居 (15:00~15:30)**
きらら浜の生きものが主人公の楽しいお話です。
クイズもあるよ!
- ★ **ビデオ上映 (15:30~16:00)**
公園内で観察できる鳥たちの様子や、四季折々の野鳥ビデオを上映します。



工作「プラバンキーホルダー」

★お知らせコーナー★

- **ラジオ放送** KRY山口放送(5週おき9:40頃)で、公園の様子をお伝えします。次回は3月28日(土)です。
- **新聞掲載** 毎月第一土曜日にサンデー山口「野鳥手帖」で季節の野鳥について連載中です。

*** きらら浜自然観察公園 NPO法人野鳥やまぐち ***

- 住所 〒754-1277 山口県山口市阿知須 509-53 ● TEL 0836-66-2030 ● FAX 0836-66-2031
- ホームページ <http://kirara-h.com/> ● フェイスブック <https://www.facebook.com/kirarahama>
- Eメール kirara-m@gaea.ocn.ne.jp ● 休園日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)
- 開園時間 午前9時~午後5時 ● ビジターセンター入館料 200円(18才以下無料。20名以上の団体は1名160円)

きらら浜自然観察公園だより

2020年 3月号 No.227



ふゆばね
冬羽→

なつばね
←夏羽



3月の見どころは
ズグロカモメ



ズグロカモメはハトくらいの大きさの小型のカモメで、世界に一方羽もないとされているきょうな鳥です。冬羽は全体的に白っぽい色ですが、夏羽では頭が真っ黒になり、これが名前の由来になっています。

ズグロカモメは秋に韓国や中国、ロシアから渡ってきて山口県や九州北部で冬をすごし、春になるとまた子育てのためにもどっていきます。そのため、頭が黒くなるころにはいなくなってしまう。今の時期は、頭の色が少しずつ変わっていく様子が見られるので、じっくりかんさつしてみてください。

3月の行事

ヨシ焼き

3月7日(土) 10:00~12:00

※ 荒天時は3月14日に延期

ヨシ焼きは、ヨシ原の環境を維持し、丈夫なヨシを育てるために行うもので、今年は東側半分を焼き払います。豪快に立ち上る炎は必見です。



- ※ 安全確保のため、園路の一部を立ち入り禁止にします。
- ※ ビジターセンターで見学する場合、19歳以上の方は入館料200円が必要です。



3月の行事案内



8日(日) 10:00~12:00
バードウォッチング入門⑫
～繁殖期をおかえた鳥たち～

春になり、繁殖羽へと換羽した鳥たちの姿を観察します。雨天時は室内からの観察となります。

子どもレンジャークラブ⑩ ～一年のまとめ～ は、3月15日(日) 9:30~12:00です。ただし、会員制のため会員以外の参加はできません。

- ※ 特別記載のない行事は、開始30分前から開始時間までに集合・受付を済ませてください。
- ※ 参加料は無料ですが、ビジターセンター入館料 200円が必要です(18歳以下無料)。
- ※ 双眼鏡は公園で無料貸出しを行っています。

どんな行事だった？

バードウォッチング入門⑩

1月12日(日)のバードウォッチング入門⑩は、猛禽類を観察しました。観察ホールからは食事のミサゴが見られ、野外では西側の樹林に集まるトビや東側の人工築台で休むノスリなどが観察できました。その他、園路の脇に食痕もあり、猛禽類が園内でも捕食していることが分かりました。



子どもレンジャークラブ⑩

1月19日(日)の子どもレンジャークラブ⑩では、冬ごもりをする生き物を探しました。当日は雨が降っていましたが、傘をさしながら観察し、10種の生き物を見つけることができました。アシナガバチやヨコヅナサシガメが集団で越冬している姿には悲鳴が上がっていました。



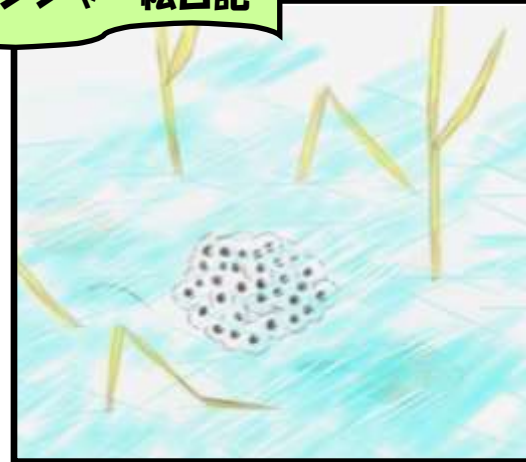
レンジャーからの挑戦状！

公園の生き物についてのクイズです。全問正解すれば、キミもレンジャーになれるかも。さあ、何問わかるかな？

- 園内にいるカワウの中には頭と足のつけ根が白い個体がありますが、それはなぜでしょう？
 - ① 年をとったカワウだから、しらがが生えてきた
 - ② まだ子どものカワウだから、幼羽が生えている
 - ③ 子育てに参加できる大人のカワウだから、そのことをまわりにアピールしている
- 春が近づくと、干潟でツグミを見かけることがありますが、何をしているのでしょうか？
 - ① 海水をのみに来ている
 - ② 水あびをしに来ている
 - ③ エサを探しに来ている

こたえはウラにあるよ

レンジャー絵日記



二月六日(木) 晴れ
二ホンアカガエルのたまごをさがし、川原の西側でオオトビの巣を探してみました。水面上に氷がはっていましたが、氷の下にたまごが隠れていました。オオトビの巣には、たまごが5つありました。オオトビは、たまごを守っています。オオトビの巣には、たまごが5つありました。オオトビは、たまごを守っています。

きらら浜の自然情報



春になると、様々な鳥のさえずりを聞くことができます。さえずりとは、子そだてするなわばりを守るためやメスへのアピールのためにオスが出すきれいな鳴き声のことです。写真はアオジという冬鳥で、冬の間は「チッ」という声で鳴きますが、春が近づき北へわたる前には「チョッピィチョッ、ピョチィチョ」などとさえずることがあります。やぶの中にいることが多い鳥ですが、さえずるときはえだ先にいることもあるのでさがしてみましょう。

ナワシログミの実が少しずつ大きくなってきました。ナワシログミの実はたてに長い形がとくちようで、秋に花がさいたあと実をつけ、4月ごろになると2cmほどに大きくなり、赤く色づきます。赤くなった実は鳥のエサになり、北へわたる前のツグミなどが食べに来ます。園内にはあちこちに植えられているので、実が大きくなる様子や、どのような鳥が食べに来るのが注目してみましょう。



きらら浜の野鳥図鑑95

ノゴマ 全長16センチ

山口県では旅鳥で、春と秋のわたりの時期に見られます。目の上と下に白い線があり、オスは赤いのがとくちようです。園内では秋の方がよくかくにんされますが、しげみにかくれていることが多いので、なかなかかんさつできません。

